

# 長歯連盟だより

令和元年6月5日(第52号)

発行所：長崎県歯科医師連盟

〒852-8104 長崎市茂里町3番19号

☎095(848)5311 FAX(846)0175

編集兼発行人：田口知義



## 夏の参議院比例代表選挙に向けて現日本歯科医師連盟顧問 ひがなつみ氏の推薦を決定!

平成31年2月16日に開催された九州地区連合歯科医師会において、第25回参議院議員通常選挙の比例代表候補者に、元衆議院議員・日本歯科医師連盟顧問のひがなつみ氏(60才、自由民主党公認)を推薦することが決定されました。

日本歯科医師連盟においても平成31年3月29日開催の第136回評議員会において、同氏を支援することが決定されました。

ひが氏の政治活動について、会員各位のご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

## 第25回参議院議員通常選挙長崎県選挙区 現参議院議員古賀友一郎氏の推薦を決定!

去る平成31年3月20日に開催しました連盟持ち回り理事会において、今夏実施予定の第25回参議院議員通常選挙長崎県選挙区において、自由民主党公認古賀友一郎候補を本連盟として推薦することが正式に決定されました。

古賀議員の政治活動について、会員皆様のご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

# 「ひがなつみ先生に支援を！」

## ～長崎県歯科医師連盟デンタルミーティングを開催～

長崎県歯科医師連盟 理事長 田口 知 義



5月13日（月）午後7時30分から県歯会館5階講堂で今夏実施予定の第25回参議院議員比例代表選挙の日本歯科医師連盟支援候補者で、元衆議院議員・日本歯科医師連盟顧問の「ひがなつみ」先生、日本歯科医師連盟高橋英登会長を迎え、長崎県歯科医師連盟デンタルミーティングを開催。

会場は、県下各地から会員・スタッフ・支援団体の関係者な

ど261名の出席者で埋め尽くされた。

田口知義県歯連盟理事長の司会の下、品川光春県歯連盟副会長の開会の辞に始まり、主催者を代表して宮口 巖県歯連盟会長、来賓を代表して高橋英登日歯連盟会長が挨拶。

宮口会長は、「選挙において我々の政治力を再び示すことができれば、歯科界に山積する諸問題の解決を可能にする一番効果的で大きな力になるものと確信しており、ひが先生を何としても参議院に送り出すことが我々歯科界の明るい未来につながる。県下の首長、国会議員、県議、市議にアピールできるような結果を残すことが、今後の長崎県歯科医師連盟の活動、ひいては長崎県歯科医師会、郡市歯科医師会の事業の推進に必ず繋がってくる。」と挨拶。

高橋日歯連盟会長は、日歯連盟活動の現状、中央情勢等について報告し、ひが先生のこれまでの衆議院議員としての実績の紹介と「我々の力を示すことが今後の歯科界の浮揚につながることになる。短期間



田口理事長



宮口会長



高橋日歯連盟会長







ひがなつみ先生

の選挙戦となるが皆様の力強いご支援とご協力をお願いしたい。」と挨拶。

続いて田口理事長がお祝いメッセージを披露し、ひが先生の講演となった。

ひが先生は、「これまでの2期5年の衆議院議員としての人脈や経験を必ず活かし、歯科界の発展に結び付けていく、政治への歯科医師会の影響力には多大なものがあり、今夏の選挙では是非皆様の力添えをお願いしたい。皆様お

一人お一人の力で、多くの支援者を募っていただきたい。」と決意表明を行った。

最後に村橋県歯連盟副会長の閉会の辞で終了し、ひが先生は出席者全員と握手をして支援をお願いした。



村橋副会長



# 平成31年3月 長崎県歯科医師連盟定時理事会

日時：平成31年3月16日(土) 午前10時

場所：長崎県歯科医師会館 2階大会議室

## 1. 開 会 副会長 村橋 秀夫

### 物故会員に対する黙禱

## 2. 挨拶 会長 宮口 巖



まず始めに、音山顧問、許斐顧問、そして本日欠席の南顧問においては、日頃より本連盟に対し大所高所からの助言、指導を賜り厚くお礼申し上げます。また、理事、監事の先生方におかれても週末のお忙しい中、出席を頂き感謝を申し上げます。

我々執行部の任期も残り僅かとなったが、皆様の協力をいただきながら、最後まで務めて参りたいと思う。

来月には統一地方選挙が実施されるが、本連盟では、様々な機会を捉えて、自民党県連執行部と懇談を持ち、良好な関係を築いている。我々歯科界の要望を実現していくためにも、自民党と更なる強固な関係を構築していく必要がある。各郡市会から推薦、支援の申請をいただき、本連盟もすでに各候補者に推薦状を交付しており、是非自民党公認候補者に対し絶大な支援、協力をお願いしたい。

また、本年7月には第25回参議院議員通常選挙が実施されるが、日歯連盟として職域代表候補者を擁立できない状況の中での選挙戦となった。そのような中、兵庫県議会副議長で歯科医師の高橋しんご氏が、全国ほとんどの県歯連盟の推薦を受け、自民党公認も得て出馬の予定であったが、体調不良との理由で公認を辞退した。これを受け、沖縄県歯の元副会長で、元衆議院議員のひがなつみ氏が出馬の意向を示し、九地連として推薦することを決定し、日歯連盟他、全国各ブロックの代表県歯連盟に協力の依頼をしている。しかし、まだ自民党の公認が取れていない状況である。(4月24日、自由民主党公認決定)

また、日歯連盟の迂回寄付事件では、高木元会長、日歯連盟が一審の有罪判決を不服として控訴していたが、去る3月5日、控訴審判決があり控訴を棄却された。日歯連盟は上告を断念したが、高木元会長は即日上告し今後も争う姿勢を示している。村田元副理事長も上告しており、本裁判は継続されることになる。静観して参りたい。

本日は、忌憚のない前向きな意見を賜りご審議いただきたい。

## 顧 問 許斐 義彦

統一地方選挙が始まる。国会議員、県議会議員、市議会議員それぞれの仕事、役割があり、先生方は日頃からそれぞれの議員に合わせた付き合い方が必要である。

若い会員にも、議員との付き合い方の微妙な部分を伝えていただきたい。

議員にとっては選挙が全てである。集票できる組織を評価するので、その辺りを理解の上活動をお願いしたい。





### 3. 報 告

- 報告第1号 長崎県歯科医師連盟庶務及び一般会務報告  
報告第2号 長崎県歯科医師連盟会計現況報告  
報告第3号 日本歯科医師連盟関係報告  
監査報告 監 事 宮崎 宏延

### 4. 議 事

- 第1号議案 平成31年度長崎県歯科医師連盟事業計画に関する件 (別掲4頁)  
第2号議案 平成31年度長崎県歯科医師連盟会費賦課徴収に関する件  
第3号議案 平成31年度長崎県歯科医師連盟会計予算に関する件 (別掲4頁)  
・全ての議案が原案どおり可決確定

### 5. 協 議

#### (1) 第19回統一地方選挙の対応について

- ・郡市会から推薦、支援の申請が提出された候補者に対しては、すでに推薦状を交付している。全員の当選を目指し、会員、家族、スタッフへの投票の呼びかけをお願いしたい。

今回初めて支援候補者として、支援状を交付した。臨機応変に対応するので、同様な郡市会の要望があれば申し出ていただきたい。

#### (2) 第25回参議院議員通常選挙の対応について

- ・沖縄県の元衆議院議員、ひがなつみ氏が出馬を表明し、九地連として九州全県連盟で推薦した。まだ自民党の公認が取れていないが、公認が取れ次第に後援会組織の発足、決起大会の開催などご協力をお願いしたい。

#### (3) 役員報酬について

- ・自民党との関係強化の関係で、三役の執務が増加している。負担も大きくなっており報酬を増額する。

#### (4) 提出協議題について

#### (5) その他

### 6. 閉 会 副会長 高木 浩司

- ・本日の協議内容について、地元の会員へお知らせいただき、統一地方選挙、参院選に向けて尽力いただきたい。



# 平成31年度 長崎県歯科医師連盟事業計画

## 1. 医療問題の解決推進及び税問題

- ①医療保険制度抜本改正に対する活動及び社会保険診療報酬適正化の推進
- ②歯科医業経営基盤の安定・向上及び業権確保
- ③歯科医師需給問題等への対応
- ④社会保険診療報酬における概算経費率制度（特措法第26条）存続への対応
- ⑤社会保険診療報酬に対する事業税非課税特例措置存続への対応
- ⑥歯科医業に係る税制への対応
- ⑦歯科衛生士等の養成確保対策

## 2. 長崎県歯科医師連盟の組織の強化促進

- ①本連盟の基盤となる新規会員の入会及び退会会員の再入会の促進

## 3. 衆・参議員及び地方議員との連絡強化

- ①推薦議員の歯科に対する理解を一層深めてもらうためのデンタルミーティング等の開催

## 4. 選挙対策

- ①国政選挙（衆・参議院）の対応について

## 平成31年度 長崎県歯科医師連盟会計収支決算書

(平成31年4月1日 ~ 令和2年3月31日)

(単位：円)

I) 収入の部				
科目	予算額	前年度予算額	差異	摘要
1. 会費	7,068,000	7,236,000	▲ 168,000	月額1,000円. 終身会員免除
2. 寄付金	6,780,000	5,960,000	820,000	日歯連盟地方政治活動費 2,880,000円 日歯連盟寄附金 1,100,000円 日歯連盟寄附金 1,300,000円 日歯連盟寄附金 1,500,000円
3. その他収入	2,000	2,000	0	銀行預金利息. その他
当期収入合計	13,850,000	13,198,000	652,000	
前期繰越収支差額	14,000,000	12,000,000	2,000,000	平成30年度からの繰越金
収入合計	27,850,000	25,198,000	2,652,000	
II) 支出の部				
科目	予算額	前年度予算額	差異	摘要
1. 経常経費	3,550,000	3,510,000	40,000	
(人件費)	1,880,000	1,880,000	0	役員報酬. 事務局費. 雑給
(備品消耗品費)	100,000	100,000	0	
(事務所費)	1,570,000	1,530,000	40,000	交通費. 印刷費. 通信費
2. 政治活動費	17,831,000	16,516,000	1,315,000	
(組織活動費)	13,070,000	12,315,000	755,000	会議費. 組織対策費. 旅費. 渉外費. 大会費
(選挙関係費)	2,500,000	2,000,000	500,000	参議院選挙 500,000円×1選挙区 衆議院選挙 500,000円×4選挙区
(機関紙誌の発行費)	880,000	880,000	0	長歯連盟だより発行費3回 780,000円 その他 100,000円
(調査研究費)	1,000	1,000	0	
(寄付金)	1,380,000	1,320,000	60,000	
3. 予備費	6,469,000	5,172,000	1,297,000	
当期支出合計	27,850,000	25,198,000	2,652,000	
当期収支差額	▲ 14,000,000	▲ 12,000,000	▲ 2,000,000	
次期繰越収支差額	0	0		

# 平成31年度 日本歯科医師連盟事業計画

## 【基本方針】

本連盟の基本的スタンスは、歯科医療の向上と国民の健康保持、歯科医業経営の継続的な安定と発展を図るため、政権与党を支持しながら多角的な政治活動や幅広く歯科医療の普及活動を展開することである。

昨年より2年連続で内閣府の経済財政諮問会議の所謂骨太の方針に歯科の文言が表記されたことは、歯科が国民の健康寿命の延伸に大きく寄与し国の重要な政策ビジョンの一つとして認知された証左であり、その実現に向けては日本の冠たる国民皆保険制度の堅持は論を待たない。高齢社会を迎え今後更に増大する国民医療費がこの国民皆保険制度をゆるがしかねない現状を鑑みると、医療費削減や国民生活の安定を推し進める上でも歯科の果たす役割は更に重要になってくるものと推察される。従って本連盟は、積極的なロビー活動を通じて、確固たるエビデンスを携えた上で歯科に理解のある議員との議論や歯科医療の普及や技術向上に向けた陳情を多方面で重ねて行く必要がある。

対内的には、引き続きコンプライアンス委員会において厳しいリーガルチェックを経ながら、会計協議会と共に連盟組織のガバナンス強化を図っている。また連盟組織の弱体化が懸念される中で、組織率の拡大に向けた会員対策委員会の答申案の具現化を強化、実行する。一方、連盟組織の再構築・機能強化を図るために設置された基本問題検討委員会や総務情報委員会もその答申の実効性に向けた活動を推進する。更に広報委員会はパンフレットなど様々な媒体を通じ、組織の活動を広く議員や会員に啓発しており、今後もより一層の充実を図る予定である。都道府県歯連盟に対しては、従来一律である政治活動支援金に加え、組織率の拡大や普及活動に尽力した都道府県歯連盟を支援するため新たに特別組織強化助成費を設ける。また公益社団法人日本歯科医師会との定期的協議を今年度も継続し、様々な政府の政策課題や諸問題について情報共有の機会を拡大しながら、更なる連携強化を図る予定である。尚、来たる参院選は、当連盟としては職域代表候補を擁立しての従来型の選挙活動は行わず、公認候補の支援という形式を取る。

対外的には様々なロビー活動を通じて、国民の健康維持と国民皆保険の堅持に向け、政権与党を支持しながら歯科に理解を示す議員等に対する働き掛けを更に強化すると共に、エビデンスに基づく歯科的情報の提供や勉強会への参加も積極的に進めて行く。

以上の基本方針の実現に向けて以下の諸事業を展開する。

## 【対外事業】

### 1. 各種国政選挙への対応

衆参議員選挙に向け、本連盟及び都道府県歯科医師連盟の推薦候補の支援体制を強化するが、今年度の参議院選挙に関しては、組織として従来型の職域代表を擁立する選挙は行わず、公認候補の支援をする。

### 2. 地方自治体議員、首長選挙対策・支援

都道府県歯科医師連盟から推薦依頼のあった候補者を支援する。

### 3. デンタルミーティング開催への支援

都道府県歯科医師連盟による『デンタルミーティング』開催を支援し、推薦議員の歯科医療への理解を一層高める。さらに内容等を当該歯科医師連盟より、フィードバックを受け本連盟活動に反映する。

### 4. 国会議員等のパーティーや各種勉強会への積極的な参加

歯科への理解を深めてもらい、啓発・普及活動を幅広く展開し、基本方針に掲げた目的を実現させるため、国会議員のパーティーや勉強会に積極的に参加する。また、国会議員との懇談会、勉強会等の積極的活用と充実を図る。

## 5. 組織代表等の国会議員との情報交換及び支援体制の確立

本連盟の基本方針に則り、参議院組織代表等の関係国会議員（衆議院を含む）との緊密な連携を図り、円滑な国会活動を支援する。

## 6. 歯科医師議員連盟の組織の充実と連携の強化

会員である国会議員、地方自治体議員及び首長をもって組織する同連盟の充実を図るとともに、本連盟との連携を強化する。

## 7. 関係団体・機関との相互理解と協力の強化

基本方針に掲げた目的を実現するため、党をはじめ関係諸団体・機関と緊密な連携・協力体制を構築し、様々な活動を展開する。

## 8. 全国歯科大学歯学部同窓・校友会との連携強化

本連盟の基本方針に則り、全国歯科大学歯学部同窓・校友会と緊密な連携を図る。

## 9. 情報開示の推進、外部広報活動の推進

『日歯連盟広報』、『ホームページ』等媒体を拡充して本連盟の活動状況等を会員並びに国民に広報する。特に外部広報に於いても一般マスコミ等への情報提供・会合の常時活動をさらに推進する。

### 【対内事業】

#### 1. 日歯連盟改革の推進

「基本問題検討委員会」の答申を基に、組織改革に向けての指針を検討し、その具体的な活動を推進する。

#### 2. 会員増強活動の推進

「会員対策委員会」の答申に基づいて、都道府県歯科医師連盟の協力を得て本連盟の基盤となる新入会員の入会促進を図るとともに、未入会対策を強力に推進し組織率の向上を図る。

#### 3. 日本歯科医師会との連携・協力

公益社団法人日本歯科医師会との連絡協議会等を通じて共通認識を高め、将来の歯科界に係る政策課題の解決をめざす。

#### 4. 都道府県歯科医師連盟との連携強化

都道府県歯科医師連盟地区事情等の相互理解の上で連携を強化する。

#### 5. 規約、諸規則等の改正の検討

「組織刷新委員会」ならびに「組織のあり方検討委員会の意見書」を参考にして、組織システムの変更等、規約・規則等の改正の検討を行う。

#### 6. 諸会議の充実

必要に応じて常任理事会やその他会議での具体的審議や各種委員会における検討を適宜行う。

#### 7. 役員勉強会の開催

新たなる課題や、政治資金規正法・公職選挙法等の法律、そして国の行政と立法のシステム等について役員間で知識・認識を共有するための勉強会を開催する。

#### 8. 情報開示の推進、内部広報活動の推進

会計の透明化、会計決定システムの開示をより一層推進し、理事会決定に至る明朗な過程を維持する。また、内部広報を通じて会計のみならず会員への十分な情報提供を行う。

#### 9. 事務局機能の再構築

事務局の再構築を進め、その機能強化と効率化を図るとともに就業規則等の整備も行っていく。



## 長崎県議会議員選挙推薦・支援候補者(19名)当落一覧

投票日 平成31年4月7日 (日)

選挙区域	定数	候補者名	党派	当落
長崎市	14名	前田哲也	自民党	当選
		下条博文(支援)	自民党	当選
佐世保市 北松浦郡	9名	外間雅広	自民党	当選
		溝口芙美雄	自民党	当選
島原市	2名	山本由夫	自民党	当選
		大場博文	自民党	当選
雲仙市	2名	宅島寿一	自民党	当選
		徳永達也	自民党	当選
南島原市	2名	中島浩介	自民党	当選
		中村一三	自民党	当選
諫早市	4名	大久保潔重	無所属	当選
		八江利春	自民党	当選
		中村和弥	自民党	当選
		橋村松太郎	自民党	落選
大村市	3名	北村貴寿	自民党	当選
		松本洋介	自民党	当選
		里脇清隆	自民党	落選
西海市	1名	瀬川光之	自民党	当選
西彼杵郡	2名	山口経正	自民党	当選

## 一般市の市長選挙推薦候補者(2名)当落一覧 (長崎市歯科医師会・佐世保市歯科医師会)

投票日 平成31年4月7日 (日)

選挙区域	定数	候補者名	党派	当落
長崎市	1名	田上富久	無所属	当選
佐世保市	1名	朝長則男	無所属	当選

## 一般市の市議会議員選挙推薦候補者(2名)当落一覧 (長崎市歯科医師会・佐世保市歯科医師会)

投票日 平成31年4月21日 (日)

選挙区域	定数	候補者名	党派	当落
長崎市	40名	深堀義昭	自民党	当選
		岩永敏博	自民党	当選

# 選挙期日前の投票手続が大幅に簡素化され、投票しやすくなります。

公職選挙法の一部が改正され、新たに「期日前投票制度」が創設されました。

この制度により、従来の不在者投票のように、投票用紙を封筒に入れて、それに署名するといった手続が不要となり、投票がしやすくなります。

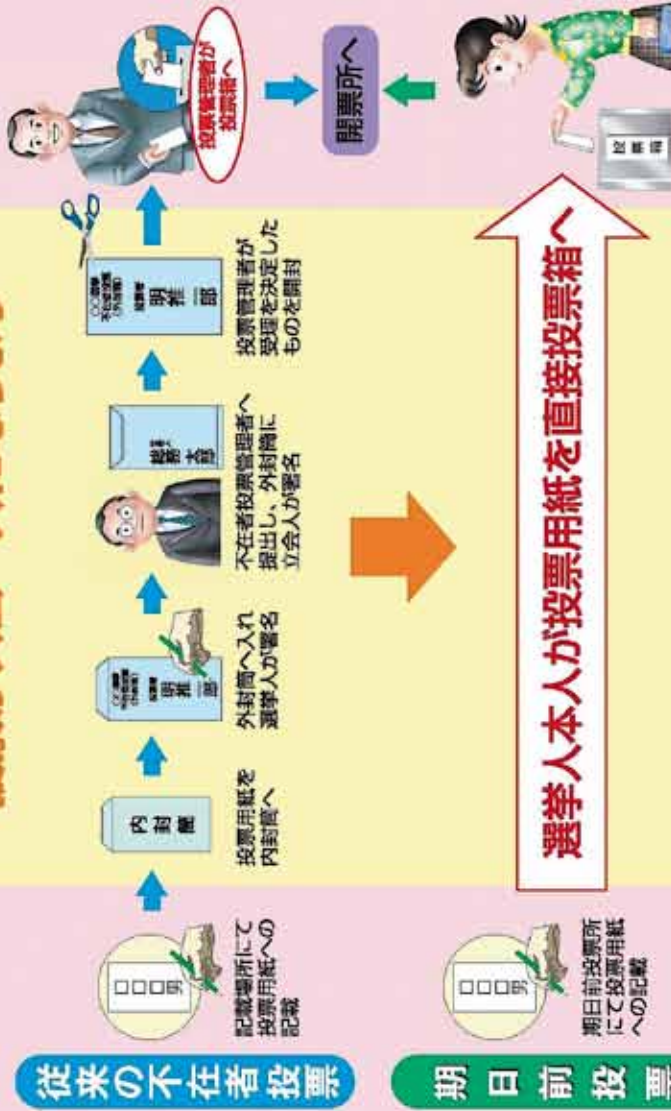
また、電子投票（電磁的記録式投票）を導入している団体は、選挙期日前の投票についても電子投票によって行うことができます。

## 期日前投票制度のあらまし

- 対象となる投票 名簿登録地の市区町村で行う投票
- 投票期間 選挙期日の公示日または告示日の翌日から選挙期日の前日まで
- 投票を行うことができる者 選挙期日に、仕事や旅行、レジャー、冠婚葬祭等の用務があるなど一定の事由（現行の不在者投票事由）に該当すると見込まれる者  
※投票の際には、期日の公示要領書に記載のとおり、選挙票に可及的である限り、次の事項（期日の不在者投票票裏面に記載）を明記し、自治体が発行するものを持参する必要があります。
- 投票場所 期日前投票所
- 投票時間 午前8時30分から午後8時まで
- 投票手続 基本的に選挙期日の投票所における投票の手続と同じです。

※期日前投票所は、各市町村により異なる場合がありますが、選挙区が異なる場合は、期日前投票所によって投票制度や投票手続が異なる場合があります。

## 手続が簡素化され 投票がスムーズになります



選挙人本人が投票用紙を直接投票箱へ



# 参議院比例代表選挙は**非拘束名簿式**です。



参議院比例代表選挙は、あらかじめ政党の側で候補者の当選順位を決めておく方式（拘束名簿式）ではなく、名簿で当選順位を決めず、有権者が候補者名または政党名のいずれかを記載して投票する（非拘束名簿式）方式のため、有権者は当選させたい候補者を選ぶことができます。比例代表選挙では、候補者名での得票が多いほど、当選する可能性が高くなります。

## 参議員比例代表選挙のしくみは次のとおりです。

### 1 公示



各政党が候補者名簿を届出（当選順位はなし）

#### 政党は

●名簿による立候補の届出  
一定の要件を満たす政党は、当選順位を付けないで候補者名簿を届け出ます。

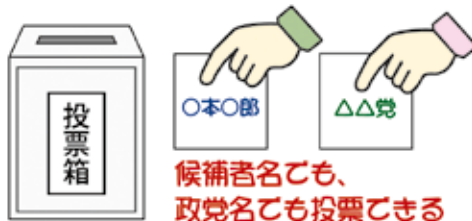
#### 有権者は

##### ●投票方法

有権者は投票用紙に、名簿に記載された候補者名を記載して投票します。ただし、候補者名に代えて政党名を記載して投票することができます。



### 2 投票



候補者名でも、政党名でも投票できる

### 3 開票



各政党の総得票数に応じて議席を比例配分し、候補者ごとの得票数の順に当選人を決める

#### 当選人の決め方

1. 政党の総得票数に基づいてドント方式により、各政党の当選人の数が決まります。なお、政党の総得票数は、候補者個人の得票と政党名の得票を合算したものとします。
2. 各政党に配分された当選人の数のなかで、得票数のもっとも多い候補者から順次当選人が決まります。

### 4 結果

<b>〇〇党</b> 400万票	<b>△△党</b> 300万票
当 〇山〇太 120万票	当 △野△代 90万票
当 〇田〇江 100万票	当 △水△一 70万票
当 〇本〇郎 80万票	△木△子 50万票
〇川〇子 60万票	△中△治 30万票
政党名の投票 40万票	政党名の投票 60万票

3人当選

2人当選





### 会員の入会 (平成31年1月～平成31年4月)

入会年月日	郡市会	氏名	備考	入会年月日	郡市会	氏名	備考
31.1.17	大村東彼	がも う りょう へい 蒲 生 亮 平		31.4.1	北松	さ と う きょう こ 佐 藤 恭 子	
31.4.1	大村東彼	なか お よし あき 中 尾 祥 章		31.4.1	西彼	ふじ やま とし あき 藤 山 俊 明	
31.4.1	島原南高	よこ た りょう すけ 横 田 亮 輔					

### 長崎県歯科医師連盟の動き (平成31年1月～平成31年4月)

- |       |                               |                    |
|-------|-------------------------------|--------------------|
| 1月12日 | 北村誠吾新年交歓会 (佐世保市)              | 出席者: (会長代理) 品川副会長  |
| 1月14日 | みぞぐち芙美雄「新春のつどい」(佐世保市)         | 出席者: (会長代理) 品川副会長  |
| 1月15日 | 連盟だより編集会議                     | 出席者: 宮口会長他8人       |
| 1月16日 | 下条ふみまさ新春の集い (長崎市)             | 出席者: 田口理事長. 中村常務理事 |
| 1月23日 | ごうまなみを育てる会 (長崎市)              | 出席者: 田口理事長         |
| 2月18日 | 前田哲也県議会議員後援会拡大幹事会 (長崎市)       | 出席者: 田口理事長         |
| 2月21日 | 日歯連盟九州地区意見交換会 (日歯)            | 出席者: 宮口会長          |
| 2月26日 | 連盟役員打合せ                       | 出席者: 宮口会長他5人       |
| 3月2日  | 自民党県連統一地方選挙女性候補予定者街頭演説会 (長崎市) | 出席者: 田口理事長         |
| 3月2日  | 自民党県連統一地方選挙女性候補予定者支援集会 (長崎市)  | 出席者: 中村常務理事        |
| 3月5日  | 連盟理事会日程調整会議                   | 出席者: 宮口会長他10人      |
| 3月8日  | 都道府県連盟会長会議 (日歯)               | 出席者: 宮口会長          |
| 3月15日 | 前田哲也県議総決起集会 (長崎市)             | 出席者: 田口理事長. 中村常務理事 |
| 3月16日 | 連盟理事会                         | 出席者: 宮口会長他27人      |
| 3月22日 | 浅田ますみ県議総決起集会 (長崎市)            | 出席者: 中村常務理事        |
| 3月25日 | 田上とみひさを励ます会 (長崎市)             | 出席者: 中村常務理事        |
| 3月29日 | 日歯連盟評議員会 (日歯)                 | 出席者: 宮口会長          |
| 4月7日  | 前田哲也県議選挙事務所へ出向き (長崎市)         | 出席者: 田口理事長. 中村常務理事 |

### 「会員の声」原稿募集

本誌では、会員からの投稿欄「会員の声」の原稿を募集しておりますので、建設的な意見・要望などをお寄せください。

投稿規定は次のとおりです。

◇原稿の採否は編集兼発行人にご一任ください。

なお、掲載の採否のお問い合わせはご遠慮ください。

また、編集及び校正については編集兼発行人にご一任ください。

◇原稿には表題を必ず明記してください。

◇匿名での原稿は受付をいたしません。

◇投稿者は氏名・年齢・所属郡市会を明記し、県歯連盟宛に郵送又はFAXでお寄せください。

### 編集あしがき

令和元年5月13日、県歯会館において長崎県歯科医師連盟デンタルミーティングが開催されました。

日本歯科医師連盟会長の高橋英登先生、元衆議院議員・日本歯科医師連盟顧問のひがなつみ先生のご挨拶や時局講演の中で職域代表議員を選出することが重要であると強調されました。

国民皆保険制度の維持、歯科の業権確保・拡大に“政治力”がものを言うのかを実感させられました。

次期参院選、ひがなつみ先生が立候補されます。会員皆様の応援のみならず、会員一人あたり10人といわず20人でも30人でも支援者を募れるようご協力をお願いいたします。

(木原 功喜)